部活動の活動方針

旭市立中央小学校

校長名　　加瀬　政吉

教 育 目 標	・学校教育目標 「確かな学力をもち　心豊かでたくましい児童の育成」 ・学校教育目標との関連 　部活動を通して、スポーツや音楽に生涯親しむ能力や態度、心情を養うとともに、協力して活動することや自主的・実践的に行動する態度を養う。また、自己肯定感を高め、児童の心身の成長を図る。
部活動の基本方針	学校教育目標の実現に向けて、「旭市部活動の方針」に則り、次の各事項に留意し、必要な活動環境を整える。 ①適切な指導 ・児童が主体的に活動し、効率的・合理的に力を高めていけるよう、年間の計画を見通し、時期に応じた科学的なトレーニングを取り入れたり、ミーティングを行って活動を振り返る機会を設けたりするなど、活動内容を工夫する。 ・全職員の共通理解の下、体罰の防止を徹底し、ハラスメント等によって児童の人格や尊厳を不当に傷つけることのないようにする。 ②適切な活動時間 ・平日の活動時間は、長くとも２時間程度する。週末を含む学校の休業日は、長くとも３時間程度とする。これを超えて活動する場合でも、前後の週の活動時間を短縮するなど、活動時間を調整する。 ・平日に１日以上、土日に１日以上の、週２日以上の休養日を設ける。土日に大会等で活動した場合は、休養日を振り替える。 ③事故防止 ・活動場所や用具の安全点検を活動前に行うとともに、年度初めに全職員にＡＥＤの使い方の研修を行う。また、発達段階、体力及び活動環境を考慮し、熱中症を含め、怪我や事故が起こらないよう十分に配慮した活動を行う。 ④その他 ・年度初めに部活動保護者会を開催し、各部の活動方針や年間の計画を知らせる。また、所属する部活動の保護者に、毎月の活動計画を知らせる。なお、陸上部については、４～６年生のほとんどの児童が入部することや活動期間が限定されることから、部活動保護者会を開催せず、活動方針や年間の計画を文書にて知らせる。